

特集

未来を切り開く力を育てる教育

ICT教育進んでいます



▲電子黒板とタブレット端末

児童生徒に1人1台の情報端末を早期導入する、国の「IGAスクール構想」。町は、令和2年度に小中学校の全ての児童生徒が、学習用タブレット端末を使えるように整備しました。また、県内でも、いち早く全ての普通教室に電子黒板を整備し、授業で活用しています。

タブレット端末の活用

小学校573台、中学校328台のタブレット端末を整備し、一部の授業では、調べ学習や発表資料の作成などで活用しています。タブレット端末は、パソコンとしても利用できます。

小学校高学年以上になると、慣れた手つきでタイピングをしたり、自分で考えたことをインターネット検索したりとタブレット端末を道具として使用しています。

電子黒板の活用

電子黒板は、授業だけでなく学校生活にも活用されており、先生や子どもたちは、違

問い合わせ

教育課 学校教育係

☎ 2311

活用方法の実例

小学4年生 総合学習の授業

授業では、インターネット上の地図を利用して、旧小学校付近の危険箇所を調べ、安全マップを作成しました。児童は、画面をスイスイと指で操作し、同級生と危険箇所を確認していました。



▲タブレットで危険箇所を確認

電子黒板を使って 授業をしている先生に お聞きしました



東庄小学校
4年2組担任
田中 克弥 先生

電子黒板の導入によって、授業で伝えたいことを従来よりも容易に図形やイラストなどを用いて、視覚に訴えられるようになりました。インターネットの利用や映像視聴により、児童の反応も、黒板だけの授業よりも手ごたえがあります。電子黒板には、色々な活用方法があると思

うるので、今後も他の先生方と情報共有や研修会を通じて、授業に取り入れていきたいです。



▲電子黒板を操作して説明

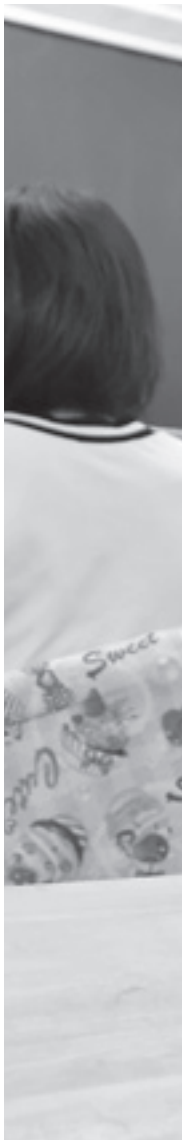
▶電子黒板に直接板書



▶発表資料を表示して発表



▶教科書を電子黒板に表示



和感なく使用しています。

電子黒板は、従来の黒板と同様に、板書したり、図形を描写したりできます。それ以外にも、教科書やノートを表示して書き込む、タブレット端末と接続して発表に使用する、映像を視聴する、タイマー時計に使用する、連絡事項を表示して情報共有に使用するなど、様々な活用をしています。

ICT活用による効果

ICTを取り入れることで、授業の理解を深めたり、課題解決力や表現力が育まれるなど様々な効果が得られています。

また、ICTを活用することで、先生方の負担軽減にもつながります。電子黒板やタブレット端末導入により、教材の準備や板書の負担が減りました。多忙な校務を効率化することで、本質的な教育に時間を使えるようになります。

今年度以降は、町教育委員会では、ICT教育をサポートするためICT支援員を配置し、児童生徒への授業支援や先生方への研修などを充実させます。また、タブレット端末を持ち帰って、家庭での学習やオンライン授業に役立てることを進めていきます。

中学3年生 英語の授業

「ユニークなキャラクターを英語で紹介しよう」という授業で、生徒はインターネットで調べたキャラクターの画像や英単語を利用して、タブレット端末で発表資料を作成しました。タブレット端末で画像を作成したり、カメラで撮影したりなど、タブレット端末をフル活用していました。

資料ができた生徒は、すぐにタブレット端末を電子黒板に接続し、皆の前で発表しました。容易に接続できるので、準備時間も少なく、スムーズに授業が進められていました。



▲インターネットで英単語を検索